

学校スローガン

「自分で考え 決めて チャレンジ! みんなでつくる 明日の緑小!」



緑小だより

令和7年11月28日(金)発行 NO. 27

留萌市立緑丘小学校



「子どもたちの憧れの職業として～生き生きと学び働くこと～」

校長 西 條 直 志

初雪が降り、朝晩の冷え込みも厳しくなり、いよいよ本格的な冬の到来を感じる頃となりました。早いもので、気付けば今年も残り後一か月です。学芸会を終えた子どもたちは、比較的大きな行事のないこの11月を、学習に集中して取り組むことができました。

この時期は多くの学校で実践発表会を行い、幅広く授業を公開し、外部の先生方からご意見をいただく機会を設けています。本校におきまして、昨年度教育実践交流会を行い、4年生の算数の授業を公開し、管内の先生方や教育大学の准教授の先生よりご助言をいただきました。今年度は9月に道内の著名な先生をお招きし、師範授業やご講演を行っていただき、研修を深めることができました。

今年度も本校では昨年度に引き続き、「子どもを主語にした授業づくり～学びのユニバーサルデザインの考えに基づいて～」を研修テーマとし、先生方一人一人が個人課題を設定し、日々の授業改善に努めています。「学びのユニバーサルデザイン」とは、子どもたち一人一人の得意なことや学び方の違いを大切に、みんなが学びやすい工夫をする授業づくりの考え方です。子どもたちの「わかる」「できる」を広げていくことを目指し、「子どもが『何をするのか、が明確なゴールの設定』『自己決定と見通しを大切にした授業づくり』などの個人課題を設定し、研究授業や中間発表会等を行ってまいりました。教育基本法第9条には、「法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない」とあります。何年教員を続けてきても、研修に終わりはありません。時代の要請に沿ったより良い授業、より良い教師の在り方を目指し、今後も学び続けていきたいと思っています。

先日、新聞に、ベネッセ教育総合研究所と東大社会科学研究所が共同で実施している「なりたい職業」(2024年)の結果が掲載されていました。上位の結果は次のようになりました。

【小学4～6年生】

- 1位 フロスポーツ選手
- 2位 店員
- 3位 教員
- 4位 ユーチューバー・Vチューバー
- 5位 医師

【中学生】

- 1位 教員
- 2位 フロスポーツ選手
- 3位 医師
- 4位 看護師
- 5位 保育士・幼稚園教員

【高校生】

- 1位 教員
- 2位 看護師
- 3位 医師
- 4位 地方公務員
- 5位 保育士・幼稚園教員

教員は、小学校高学年で3位、中高生では1位と、大変人気のある職業となっています。この理由としては、「子どもたちにとって最も身近な存在であること」「先生方が質の高い教育を提供できていること」が挙げられていました。新採用の教員に志望動機を尋ねると、やはり一番多いのは「自分の子ども時代の担任の先生に憧れて」が多いとのことでした(ちなみに私はドラマ「熱中時代」の北野広大先生に憧れてです…笑)。ここ数年は「ブラックな職場」というイメージが先行しているかと思っていましたが、そうではないことに正直ほっとしています。



■外部講師による師範授業

毎日子どもたちと長い時間を過ごしている私たち教員の影響力は大きいと感じています。教員として、また一人の大人として、生き生きとそして楽しそうに、日々学びながら働く姿を子どもたちに見せていければと思っています。

2学期も残り1か月を切りました。全道だけでなく、留萌管内においてもインフルエンザ等が流行し、学級閉鎖等の措置を講じる学校も増えてきています。保護者・地域の皆様方には、くれぐれも子どもたちの感染予防や健康管理にご留意いただき、2学期の終業式まで元気に登校できるよう、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆留中校区小学校交流会(6年生)◆

来年の4月から一緒に留萌中学校へと入学する子どもたち。東光小、潮静小、緑丘小の6年生が留中に集まり、一足早く交流を楽しみました。また、グループごとに授業参観をさせてもらい、中学生が授業を受ける様子からいろいろな気付きがあったようです。3学期には一日体験入学も予定されており、新年度に向けた心の準備が着々と進んでいます。



スキーボランティア募集!

スキー学習でお手伝いをしていただける方を探しています(昨年度は3名の保護者にご協力いただきました)。保護者、祖父母、地域の方々など、どなたかいらっしゃいましたら、学校(教頭)までお知らせください。

【時期】令和8年1月下旬～2月上旬

【場所】増毛スキー場・沼田スキー場

【内容】…スキー指導よりも**お手伝い**中心です!

- スキー板の**脱着補助**
- 転んでいる子を**立たせる補助**
- 子どもと一緒に**ゆっくり滑る**
- グループの**後ろについて**滑り降りる など

【その他】保険・謝礼もあります。

※特に**1年生の学習に人手が必要です**。ご協力をよろ

12月行事予定

- 1日(月) 朝補充週間(～12日)
体力づくり週間(～5日)
- 2日(火) クラブ活動(最終)
- 4日(木) 全校朝会
- 9日(火) 5年環境学習、なかよしタイム
- 11日(木) CRT学力検査(全学年:国・算)
- 16日(火) 児童会活動
- 23日(火) 大掃除
- 24日(水) 午前日課、2学期終業式
- ★12月25日(木)～1月15日(木) 冬休み

◆冬期間の登校について◆

暴風雪による臨時休業の判断につきましては、以下のような手順で進めます。ご承知おきください。

- ①**原則6:30までに臨時休業の有無を学校で検討**します。
- ②臨時休業が決まり次第、「**tetoru(テトル)**」で**全家庭に連絡**します。
→悪天候が予想される場合は、アプリの確認をこまめにお願ひします。
- ③通常登校になった場合でも、地域の除雪具合により登校が難しい場合もあります。その際は、tetoruまたは直接学校まで連絡をお願いいたします。

☆「**道路幅が狭い**」「**雪山が高い**」「**歩道がない**」など、児童の安全な登校に支障が出そうな場所がありましたら、**学校までご一報ください**。早急に対応したいと思います。



「わたしはロボットではありません」 のニセモノに注意！

インターネットでゲームをしたり、動画を見たりするときに、「わたしはロボットではありません」という画面が出たことはありませんか？これはサイトにアクセスしているのがコンピューターのプログラム（ロボット）ではなく、人間かどうかをチェックするしくみのひとつです。これを「CAPTCHA（キャプチャ）認証」といいます。

➤ ニセモノに注意！

「CAPTCHA（キャプチャ）認証」は安全なしくみですが、このニセモノを使った新しい詐欺の手口が広がっています。「わたしはロボットではありません」の画面の次に「Windowsキー + Rを押してください」や「Ctrl + Vを押してください」といった特別な操作をさせようとするものです。普通の認証だと思ってこの指示通りに操作してしまうと、ウイルスが入ってしまったり、端末を乗っ取られたりすることがあります。



Windowsキーはキーボードの
左下にあるキーのことです。

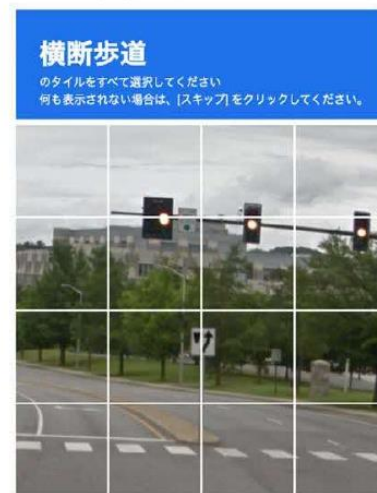
【よくある安全な指示】

- ・バスの写真をすべて選んでください
- ・表示されている文字を入力してください
- ・このパズルを完成させてください

【詐欺の可能性のある危険な指示】

- ・Windowsキー + Rを押してください
- ・Ctrl + Vを押してください
- ・プロファイルをインストールしてください

安全な認証の例



➤ なれていても油断は禁物！

「わたしはロボットではありません」の認証をするときは、それが本当に安全なものか気を付けるようにしてください。いつもと違う不自然な操作を求められたり、何かおかしいと思ったら、詐欺かもしれないので、操作するのをやめて、すぐに周りの大人に相談するようにしましょう。

©本資料は北海道教育委員会の委託を受けてポルトゥウィン株式会社が令和7年11月に作成したものです。

“私はロボットではありません” に潜む詐欺の罠

インターネットをしていると「私はロボットではありません」と表示される認証画面（CAPTCHA）が表示されることがあります。指示に従って認証を行うとサイトにアクセスできるというものです。最近このシステムを悪用した詐欺が増えています。



見慣れた画面に潜む詐欺の手口

この認証画面（CAPTCHA）は本来、機械による不正アクセスを防ぐためのもので、有名などころでは複数の画像を表示して「この中から車の画像をすべて選んでください」などと指示してくるものがあります。この認証システムが一般的に普及した結果、偽の認証画面を使って、利用者に不正な操作をさせる新しい詐欺の手口が確認されています。見慣れたシステムなので特に注意せずに指示通り操作してしまいがちですが、そこに悪意のある不正なプログラム等が仕掛けられていることもあります。



Windowsキーはキーボードの
左下にあるキーのことです。

不自然な操作を求められたら注意

偽物のCAPTCHAを使った詐欺では、見慣れた認証画面を表示したうえで、「Windowsキー + Rを押してください」「Ctrl + Vを押してください」「OKをタップして次へ進んでください」といった不自然な操作を求めてくるケースが多く見られます。これらの指示は、実はコンピュータウイルスが侵入することを許可する危険な操作になっており、個人情報等を盗み取られたり、コンピュータウイルスに感染させられたりしてしまいます。

不自然な操作には実はこんな意味があります。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 「Windowsキー + Rを押してください」 | → 端末にファイルを実行させる準備をする操作 |
| 「Ctrl + Vを押してください」 | → 不正なファイルを貼り付ける操作 |
| 「OKをタップして次へ進んでください」 | → 貼り付けた不正なファイルの起動を許可する操作 |

スマートフォンを対象とする手口では、「通知を許可してください」「プロファイルをインストールしてください」といった形で、端末の設定を変更させるケースもあります。見慣れない操作を求められたときには安易に実行せず、一旦認証を中断してください。

家庭での指導

インターネット上の詐欺は新しい手口がどんどん増えています。今回紹介した偽物のCAPTCHAを使った詐欺に限らず、「よく見かけるものだから安全だろう」と思い込まず、書かれている内容を確認して冷静に判断することが大切です。また、冷静な判断をさせないように操作を急かす手口もありますので、怪しいと思ったらすぐに画面を閉じるという対処方法を身に付ける必要があります。子どもをトラブルから守るために、各家庭において、インターネット利用における落とし穴や気を付けることなどについて、話し合ってみましょう。



©本資料は北海道教育委員会とポルトゥウィン株式会社が令和7年11月に作成したものです。
子どもたちのインターネット利用に関わる相談等がありましたら、下記のURLまでご相談ください。
≪北海道教育委員会ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト≫
<https://webreport.public.ptw.jp/hokkaido/helpsite/>